

AIDS UPDATE

No.37 2003.3.3

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線5581 (輸血部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

☆ 職員エイズ研修会 ☆ ～針刺し事故、どうしたらいいの?～

■ 私たちの病院はエイズ治療のための中国四国地方ブロック拠点病院です。今年度は感染症対策委員会と共催で、職員研修として講演会を開催します。今年のテーマは、汚染事故とその対策です。お誘い合わせのうえご参加下さい。

【記】

日時: 2003年3月11日(火)18:00～20:00

場所: 広大病院 外来棟3階 大会議室

報告: エイズ海外研修報告

1. 9階西病棟看護師 木下一枝
2. 小児科医師 西村 裕

講演: 「血液介在性感染症のインパクト
その予防と対策」

演者: 安岡 彰助教授

(富山医科薬科大学感染予防医学)



第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議 ～科学とコミュニティのHIVの統合～

■ 2050年にエイズ患者が最も多いのはアジアであることが予想されています。基礎医学、臨床医学、社会医学ばかりでなく患者団体やNGOにいたる、幅広い「エイズに関係した人たち」が神戸に集まります。あなたも"参加"しませんか。

厚労省エイズ動向委員会の報告

■ 厚労省の委員会では、1年を4半期に区切って報告を出しています。今回は、平成14年12月末で区切った集計です。14年全体については次回報告されます。日本の動向は「毎年、前の年より多い患者・感染者が新たに見つかる」となっています。なお、献血者における陽性率が10万人対で1.418人と直線的な増加です。

詳細については「エイズ予防情報ネット

(http://api-net.jfap.or.jp/mhw/mhw_Frame.htm)
をご覧ください。

< ご意見募集 >

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。 [TAKATA, OE]
takata@aid-chushi.or.jp